

【青和小学校】平成30年度奈良市通学路安全プログラム対策箇所一覧（R5年8月末時点）

危険箇所番号	小学校名	路線名	箇所名・住所	通学路の状況・危険の内容	対策（検討も含む）	事業主体	対策後状況	備考
1	青和	市道二名学園前線	学園新田町・百楽園1丁目	交通量が非常に多く、通行する児童も多い。北から南方向への通行が時間規制されているにもかかわらず違反車両が多い。一昨年度、一旦停止の標識が設置されたが停止する車が少ない。通学・通勤・自転車が多く、児童だけの通行がたいへん危険である。いつ事故が起きてもおかしくない状況である。	横断歩道、停止線の塗り直し	警察	済	
1	青和	二名学園前線	学園新田町・百楽園1丁目	交通量が非常に多く、通行する児童も多い。北から南方向への通行が時間規制されているにもかかわらず違反車両が多い。一昨年度、一旦停止の標識が設置されたが、停止する車が少ない。通学・通勤・自転車が多く、児童だけの通行がたいへん危険である。いつ事故が起きてもおかしくない状況である。	「児童注意」の塗り直し	市	済	
2	青和	里道	百楽園5丁目及び百楽園1丁目54、南登美ヶ丘16～22、	本校区は、用水路や側溝が多く、グレーチングや安全柵が設けられず、むき出しになっている箇所が多い。狭い道路では、車を避けるときに誤って側溝に落ちた児童もいる。晴天時であったため事なきを得たが、雨量の多い時期には流されてしまう可能性が大きい。また、最近、地域住民からの要望で、通学路の一部を変更したことにより、約30名ほどの児童が大きな側溝の横を通らざるを得ない状況となった。	反射板、鉄の棒設置	市	済	
3	青和	西部第566号線	学園緑ヶ丘2丁目・百楽園4丁目	前回の安全プログラムにおいて、学園緑ヶ丘側の横断歩道、停止線、「止まれ」の道路標示の塗り直しがなされ、改善されたが、百楽園4丁目側の横断歩道並びに停止線が依然として消えかかったままである。	横断歩道の設置又は移設	警察	済	
3	青和	西部第566号線	学園緑ヶ丘2丁目・百楽園4丁目	前回の安全プログラムにおいて、学園緑ヶ丘側の横断歩道、停止線、「止まれ」の道路標示の塗り直しがなされ、改善されたが、百楽園4丁目側の横断歩道並びに停止線が依然として消えかかったままである。	道路の修繕	市	済	
4	青和	二名学園前線	百楽園1丁目・学園新田町・学園緑ヶ丘2丁目	スーパーハッスルから本校北門までの歩道において、舗装が剥がれたり陥没したりしている箇所が多く、つまずきや転倒によるけがが多い。車両対向のため、縁石の低い箇所もあり、車両との接触の危険性もある。学園緑ヶ丘2丁目3-12辺りから西側の歩道については、今年度5月末に整備された。	歩道の補修	市	済	
5	青和	西部第470号線	南登美ヶ丘25	大淵池公園入り口からスーパーハッスルにかけての南方向への通行は時間規制されているが、違反車両が多く危険である。その違反車両のために、南側の上村電化前の交差点での通行量が増える原因となっている。	定期的な見回り、取り締まり	警察	済	